

2014 年度第 5 回日本語教育研修会（高雄・台南・台北）

国際交流基金日本語国際センター

専任講師 木田真理

テーマ：学習者の意欲向上をめざした文字・語彙指導上の工夫

研修会の概要

国際交流基金教授法教材シリーズ 第3巻の『文字・語彙を教える』の中から、仮名の指導のヒントを中心に、次の流れで進めていきました。

1. 学習意欲について考える
2. かな（ひらがな・カタカナ）の指導のヒント
「読み」の教え方 「書き」の教え方
いろいろな教室活動 いろいろな教材
3. 漢字の指導のヒント
4. 語彙の指導のヒント
5. まとめ
おまけ・・・コーパス

最初に、「平仮名や片仮名の練習は単調なので、学習者のモチベーションを上げるのに苦労する」「なかなか覚えられない」「きれいに書けない」などの参加者の皆さんからの事前アンケート結果を共有しました。次に、授業が「楽しい、面白い」と思う要素は何かということ、自分の子供の頃の記憶の中から振り返ったあと、動機づけに関する理論「ARCS モデル」を紹介しました。注意（Attention）、関連性（Relevance）、自信（Confidence）、満足感（Satisfaction）の4つの要素が、授業や教材をより魅力のあるものにするヒントとなります。そして、学習者が文字語彙の学習に厭きずに取り組めるようにするための教師の仕事として、「学習者の動機づけを高める工夫を行う」「学習者の理解や記憶を助ける」というポイントを確認しました。学習者が、文字や語彙を一人でも学び続ける努力は欠かせませんが、コミュニケーションをとりながら、誰かと一緒に楽しみながら学ぶ活動を時々授業に取り入れることを勧めます。そのための具体的な活動やちょっとした工夫を紹介しました。

紹介した活動や工夫は以下です。

- 1) 名前を覚えてもらえる自己紹介の3要素
- 2) ARCS モデル
- 3) 日本語の表記法の基準のHP（文化庁 国語施策・日本語教育）

- 4) ひらがな カタカナの字源
- 5) あいうえおの歌
- 6) ひらがなカタカナ 連想法 (アソシエーション法)
- 7) この文字な～に 画用紙版
- 8) この文字な～に 電子版
- 9) 手作り 絵がヒント 50 音パズル
- 10) 手作り 絵が答えあわせマッチング
- 11) ローマ字ボードでマッチング
- 12) 仮名を楽しく練習する活動
- 13) きれいに書ける補助線つき仮名シート
- 14) ひらがな太極拳・カタカナ空手
- 15) 水かきお習字練習帳 (水で書けて消えるもの)
- 16) ひらがなツリー カタカナツリー
- 17) にほんごアートコンテスト (カナダ トロントの試み)
- 18) マルチプル・インテリジェンス
- 19) 意味用法にずれがある漢字指導の必要性について
- 20) 語彙マップ
- 21) 言葉と写真
- 22) コーパス BCCWJ 少納言と NLB

実際に一緒に身体を動かしたり、ちょっとしたサプライズのある教材を皆さんでやってみて、「単調になりがちな文字指導のユニークな教材や導入方法のアイデアをもらった」「ARCS 理論については、文字語彙だけでなく、授業を組み立てる上で大きなヒントになりそう」などという声が聞かれました。

研修会の最後には、You Tube にアップされている動画、『恋するフォーチュンクッキー日本語国際センターVer.』をご紹介し、様々な国から参加している「海外日本語教師研修」の参加者や施設の様子をお伝えしました。

<https://www.youtube.com/watch?v=wOnxOhrYAyA>

* 本報告で閲覧可能な配布資料は、著作権の関係から、一部のみとさせていただきます。